

亀山眼科7日ゼミナー

帯広「加齢黄斑変性症」セミナー

亀山眼科(帯広市西20南2、亀山天希院長)の第1回健康ゼミナーが、7日午後2時から同眼科で開かれる。参加無料。眼科は昨年11月に開院。今後、目の病気に関する啓発のため定期的に健康ゼミナーを開催する。第1回のテーマは「高

加齢黄斑変性は両目発症のリスク 片目に加齢黄斑変性(AMD)を発症すると、もう一方の目にも発症するリスクが、と米ウイコンシン博士らが医学誌で報告した。同博士らは、男女計4379人の加齢性眼疾患に関する調査データを収集した。AMDを重症度により、未発症(レベル1)、軽度早期(レベル2)、中等度早期(レベル3)、重度早期(レベル4、後期(レベル5))の5段階に分類。

重程度別に発症や進行などの経過を検討した。AMDの発症による、もう一方の目のAMD発症や進行への影響を見ると、片目のAMDがレベル1から2に進行すると、もう一方の目にも発症するリスクは4.9倍に上った。同様にレベル2から3への進行では2.09倍、レベル3から4への進行では2.38倍、レベル4から5への進行では2.46倍で、片目のAMD発症に伴い、もう一方にもAMDが進行する

ことが分かった。